

平成15年度 第31回 岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会  
 兼 第34回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会  
 大会最終日:平成15年11月9日(日)  
 会場:岐阜メモリアルセンターで愛ドーム

## 男子の部

<審判>

準決勝 岐阜総合 84  $\left[ \begin{array}{l} 24 - 23 \\ 12 - 15 \\ 25 - 13 \\ 23 - 16 \end{array} \right]$  67 長良 小牧秀則・山田祐治

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。岐阜総合は 縣、梅田、長良は 浅野、栗田と、互いのポイントゲッターが活躍して、互角の展開となった。前半は、長良が38-36とわずかに2点のリード。

後半に入ると脚の止まった長良に対し、岐阜総合は粘り強いディフェンスから活路を見いだして次第に差を広げていく。第4ピリオドには、縣の3点シュート、原のミドルシュートで相手を突き放し、84-67で勝利して、岐阜総合が決勝へ駒を進めた。(西脇勝己)

準決勝 中津川工 73  $\left[ \begin{array}{l} 12 - 8 \\ 19 - 10 \\ 22 - 22 \\ 20 - 19 \end{array} \right]$  59 大垣工 松野瑞穂・棚橋英一

序盤は両チームとも動きが固く、ロースコアの展開となった。第2ピリオドに入るとようやくゲームが動き出し、中津川工は 深谷にボールを集めて得点を伸ばしていく。また堅いディフェンスで相手の攻めをはねかえした。前半は31-18と、中津川工が13点リードして折り返した。

第3ピリオド、大垣工はディフェンスを3-2ゾーンに変えて、杉本、田宮の3点シュートで応戦。中津川工も 高瀬の3点シュートで対抗し、一進一退の攻防となった。第4ピリオドも、中津川工は 中谷の連続3点シュート、大垣工は 福吉、松浦の3連続3点シュートと、点の取り合いとなった。しかし高さで優る中津川工が逃げ切って、2年連続優勝に向けて決勝へ駒を進めた。大垣工は、チームの要 松浦が終盤に負傷退場したのが痛手となった。(宮崎泰彦)

決勝 岐阜総合 80  $\left[ \begin{array}{l} 27 - 17 \\ 16 - 12 \\ 25 - 21 \\ 12 - 25 \end{array} \right]$  75 中津川工 増田博徳・室谷伸治

今年度の県総体を制した岐阜総合と、昨年度の選抜大会の覇者、中津川工の激突となった男子決勝戦は、予想通りの厳しい戦いとなった。岐阜総合は、佐守、原を中心に速い展開に持ち込み、要所で 縣が3点シュートを決めて、有利に試合を進める。中津川工は3点シュートが決まらず苦しい展開ながら、粘り強いディフェンスと、伊藤、深谷がインサイドで頑張り、必死に食い下がる。第3ピリオドまでは岐阜総合が68-50とリードして、勝負あったかに見えた。

しかし、勝ちを意識した岐阜総合が消極的になったところで、中津川工はボールマンに激しくプレッシャーをかけてボールを奪うと速攻につなげ、流れをつかむと、残り40秒にはついに3点差まで追い上げた。しかし最後はファウルを得た岐阜総合 原が、冷静にフリースローを2本とも決め、追いすぎる相手を振り切った。最後まで攻めの姿勢を崩さなかった岐阜総合が、80-75で県高校選抜大会初優勝を飾り、インターハイに続いて全国大会へと駒を進めた。(清水 潤)

女子の部

&lt;審判&gt;

準決勝 岐阜女子 111  $\left[ \begin{array}{l} 25 - 11 \\ 32 - 4 \\ 30 - 10 \\ 24 - 15 \end{array} \right] 40$  県岐阜商 西尾司・清水潤

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。序盤、岐阜女子はゴール下の趙(190cm)にボールを集めるが、相手の激しいディフェンスにあって攻めあぐむ。県岐阜商も、相手の高いディフェンスを攻めきれず、7分までは一進一退の攻防が続いた。しかし、高さとスピードに勝る岐阜女子は、梅田を軸に速いパス回しから岩田、宮元が着実にシュートを決めて一気に点差を広げ、前半で57-15として試合を決定づけた。

後半、県岐阜商は岩田、渡辺が必死でゴールを奪うが、差は広がる一方であった。結局、岐阜女子が高さとスピードで相手を圧倒し、危なげないゲーム展開で決勝へ駒を進めた。(杉山秀謙)

準決勝 高山西 87  $\left[ \begin{array}{l} 25 - 16 \\ 18 - 20 \\ 20 - 19 \\ 24 - 17 \end{array} \right] 72$  多治見西 小泉純子・田中昭博

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートした。多治見西は鎌田のインサイドを軸に得点を伸ばしリードを奪う。高山西は、古本のインサイドや湯口のランニングプレーで追い上げて、逆転に成功。高山西が、前半を43-36とリードして折り返した。

後半も高山西は、速攻によく走り、古本のインサイドでの活躍で得点を伸ばし、粘る相手を振り切って決勝へ駒を進めた。多治見西は外角シュートの確率が悪く、さらに第3ピリオドまで38点をあげ孤軍奮闘した鎌田が5反則退場したことも響き、高山西を追いあげることができなかった。(下畑耕一)

決勝 岐阜女子 103  $\left[ \begin{array}{l} 25 - 20 \\ 27 - 12 \\ 26 - 15 \\ 25 - 11 \end{array} \right] 58$  高山西 大野貴司・神山元秀

岐阜女子はマンツーマンディフェンス、高山西は2-1-2ゾーンディフェンスで始まる。高山西はスクリーンプレーからシュートチャンスを作ると、岩佐、湯口らがジャンプシュートを決め、7分まではリードを奪った。しかし岐阜女子は趙(190cm)らの高さを活かしてリバウンドシュートを決め、宮元の2本の3点シュートなどで逆転。その後は、隙のないディフェンスで相手の攻めを寄せつけず、ゴール下シュートを確実に決めて、点差を広げていく。高山西も岩佐のカットインで追いすがすが、及ばない。

後半に入っても、岐阜女子は梅田の3点シュート、宮元のアウトサイドシュート、趙のゴール下シュートなどで次々に得点し、堅いディフェンスで相手の攻めを寄せつけない。高山西は湯口がドライブからの得点で食らいついたが、結局高さに優る岐阜女子が危なげない試合展開で103-58と圧勝し、12年連続13回目の優勝を果たした。(酒井亜矢)